

令和2年度 狭山市立中央中学校 学校関係者評価表

※ 学校が行った自己評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方針について評価する。

※ 【評価の目安】

A : よくできている。 (90%以上)

B : 概ねできている。 (85%以上)

C : あまりできていない。 (70%以上)

D : できていない。 (70%未満)

領域	番号	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員から 評価(文章表記)
			評価	説明	
学校運営全般	1	学校の重点目標が明確である。	A	・職員会議や毎朝の職集で折に触れて校長・教頭から教職員に指導しています。教職員はほぼ全員理解しています。保護者アンケート「学校は教育方針を伝えている」の項目は93.2%で、昨年度より0.2ポイントアップしました。	・コロナ禍の様々な制約や自粛が求められる中、学校長のリーダーシップの下、学校教育目標達成に向けて教職員が一枚岩となって邁進していることに敬意を表する。このことは学校が楽しいと感じている生徒、保護者が9割を超えていることが証であり、行事や部活動、多くの教育活動に活力がみなぎっている。 ・学校全体として、万全のコロナ対策の下、教育方針も保護者に分かりやすく、安心している。生徒が安心して学校生活を送れる環境が整っている。 ・学校だよりの発行回数が増え、学校の様子、生徒の取り組みが紹介されていてすばらしい。また、学級便り等も数多く発行され、コロナ禍で公開が制限される中、学校の様子を理解することに役立っている。 ・無言清掃は目標を達成するためのプロセスを大切にし、形式で終わることなく本質に迫ることができた新たな伝統として根付くと思われる。
	2	生徒は、学校生活が楽しいと感じている。	A	学校生活に関するアンケート(生徒用)では95%の生徒が、「学校は自分たちを成長させてくれている」と答えています。保護者は90%が「生徒は学校生活に満足している」と答えています。	
	3	教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。	A	学校評価(教職員自己評価)では100%の教員が共通理解・共通行動がとれていると回答しています。	
	4	清掃が行き届き、学校がきれいである。	B	無言清掃に取組んで3年目です。3年生の清掃に対する取り組みは他学年の範となっています。この取り組みを全学年で充実させ、中央中の新たな伝統としたいと思います。	
	5	学校の施設・設備は安全に管理されている。	A	限られた予算の範囲内で優先順位をつけて修繕・改修をしています。「常を疑え」をモットーに生徒の目線、安全・安心な学校づくりに努めています。	
学習	6	教師は、生徒が興味関心のもてる授業、わかりやすい授業を実施している。	A	コロナ禍で授業に制約がかかる中、学校生活に関するアンケート(生徒用)では「授業は分かりやすく、学力が身につけている」の項目で、肯定的な評価がすべての教科で87%を超えています。	・学校の使命である「わかる授業の実践」、「生徒の学力保証」が教師と生徒の良好な関係によって実践されている。 ・キャリア教育の視点から学ぶことの楽しさや意義、将来への見通しが持てるような体験的な実践の取り組みを期待したい。 ・家庭学習については、継続する力も学力として捉え、その必要性を認識させ、ある程度は強制することも必要と思われる。 ・前回の評議委員会で生徒の様子を参観したが、廊下の静けさに驚かされる。生徒が落ち着いて授業を受ける姿勢が素晴らしい。確実に学力向上につながっている。 ・英語共通語時代は始まっている。子供たちの将来のために先生方には頑張ってもらいたい。
	7	生徒は、落ち着いて学習に取り組んでいる。	A	校長の教室訪問もほぼ毎日行われています。若い教員が増加し、授業規律の徹底、授業の進め方等、基本的事項を管理職からの指導や学年で連携して改善を図っています。	
	8	生徒は、基礎的基本的な学力を身につけている。	B	県学力学習状況調査の結果から、全学年学力レベルは県、狭山市とほぼ同様な結果となり、昨年度から+1~+3の伸びが見られました。	
	9	生徒は、家庭学習の習慣を身につけている。	A	PTA家庭教育奨励費からの家庭学習ノート無償配布により、充実した家庭学習が行えている生徒が増えています。家庭学習の習慣が身につけていない生徒への働きかけが課題です。	
	10	生徒は、英語活動をととして積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	A	生徒アンケートでは93%が肯定的な評価をしています。ALTを有効活用した授業も積極的に行われています。英検受験者も増えています。	
規律ある態度	11	生徒は、進んであいさつをしている。	A	相手の目を見て挨拶ができる、と来校者や地域の方々からお褒めの言葉を頂いています。さらに大きな声であいさつができるように指導を充実させます。	・来校して廊下を通ると、生徒のあいさつの連続で、とてもうれしく感じる。 ・修学旅行も遅刻なしとうかがった。時間を守ることの大切さが十分に指導された結果だと思われる。 「規律ある態度」は基本的な生活習慣であり、身につけていることはとても素晴らしい。このような基本的なことが学力の向上につながる。 ・身だしなみ、あいさつ、規律等学校が落ち着いた環境の中で教育活動が営まれていることは、地域での中央中生の様子を見聞きしても感じることができる。率先垂範、生徒を引っ張っている先生方の努力のたまものとされる。今後は社会に通じる所作を意識し、さらに品格が高められる生徒たちを育てていただきたい。
	12	生徒は、場に応じた言葉遣いができている。	A	言葉遣いの改善が徐々にみられます。入学当初は慣れあいの言葉遣いがみられますが、学年が上がるにつれて場に応じた言葉遣いができるようになっています。	
	13	生徒は、時間を守って生活している。	A	チャイムが鳴り終わる前に着席しています。時間通りに授業や朝会が開始できています。遅刻はほぼありません。今後も時間を守ることを徹底していきます。	
	14	生徒は、きまりを守って生活している。	A	大きな問題行動はほとんどありません。教職員は生徒の少しの変化も見逃すことがないように、アンテナを高めています。	
	15	教師は、自ら手本となり、規範意識を高めている。	A	下校指導、清掃指導等すべての教師であっています。授業のチャイムより前に教室に行きます。教師は率先垂範して手本を示しています。	
健康・体力	16	学校は、生徒の体力を高めている。	A	体育科を中心に体力向上に取り組んでいます。部活動も真面目に取り組む生徒が多く、熱心な教師の指導の下、新入市内大会では9つの優勝カップを勝ち取りました。	・今年度は年度当初の休校期間もあり、生徒も精神的な負担が多かったと思われる。学校再開と共に規則正しい生活リズムに戻ることが難しかったと思われる。 ・日々の健康観察(検温忘れ、保護者印忘れ)は先生方に大変な負担をかけているが、最も基本的なコロナ感染防止対策として重要である。 ・部活動の素晴らしい取り組みと成果、健康増進のための授業実践等の成果が十分に表れている。
	17	生徒は、体育や健康増進の実践に意欲的に取り組んでいる。	A	体育については94%の生徒が授業を楽しみ取り組んでいます。保健学習や命の学習、食育についても計画的に実施されています。	
	18	生徒は、健康を意識した生活をしている。	A	今年度は薬物乱用防止教室、救急救命講習が実施できませんでしたが、学校再開初日に全学級で新型コロナウイルスに関する学級指導を行いました。また、性教育など健康や保健に関する学習も計画的に行っています。	
地域との連携	19	学校は、教育活動に関する様々な情報を積極的に提供している。	A	学校だよりの発行は定期的に行われています。今年度は、新型コロナウイルス感染防止に関する情報を随時ホームページにアップするなど、その充実に努めました。学級通信により、生徒の学校での様子を家庭に伝える教職員が多くなりましたが、保護者に渡していない生徒もいるようです。	・学校だよりのHP等で学校の情報を発信していただき、楽しく拝見させていただいている。地域との連携は、コロナ終息後に円滑に移行できるよう準備をお願いしたい。 ・コロナ禍にてPTA活動等制限されたが、役員等と連絡を密にして頑張っていたと思う。
	20	学校は、保護者や地域と連携・協力し、教育活動を行っている。	B	PTA、くすの樹会、学校応援団などの団体が積極的に学校に関わってくれています。今年度は新型コロナウイルスの影響で、共同で行う事業がほとんど中止となりました。	